

項目	内容
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> 因果関係と背景を重視した本文記述により、日本史の大きな流れと政治・社会・経済・文化の変化が理解できるようになっている。 日本の歴史と世界の動きのつながりを重視した記述や地図により、日本史を国際環境の変化と結びつけてとらえられるようになっている。 女性・アイヌ民族・琉球王国など多様な立場や視点に配慮し、日本史を多面的・多角的にとらえられるようになっている。 要約文・本文・側注の三段構成と豊富な資料・地図、QRコンテンツにより、学習を整理しながら進められるようになっている。 部全体が構造化されており、学習指導要領で示された探究活動に丁寧に取り組めるようになっている。また、1章・3章の学習内容を深めるための問いも丁寧に構造化されており、部内での学びを活かし根拠をもって時代の特色を探究することができるようになっている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 各部では、1章で時代の転換期を扱い、2章で資料を探究し、3章で通史を学ぶ構成としている。各部での時代の特色が明確になるよう、1章で取り扱う転換期の範囲を工夫しており、「何が変わったのか」ととらえやすく、各時代の特色への理解が深まるようになっている。 本文では因果関係や出来事の背景を丁寧に示し、政権の構造や政策の背景、社会・経済・文化の変化など、日本史の諸事象が理解しやすくなっている。 本文や特設・コラム「世界の中の日本」で、海外からの影響や日本と世界相互の関係を丁寧に記述しており、国際環境の変化のなかで日本史をとらえられるようになっている。 本文や特設・コラム「深める」では、女性・アイヌ民族・琉球王国など、多様な立場や視点からの記述がなされており、多面的・多角的な理解が深められるようになっている。また「深める」では、人権・ジェンダーや環境・防災など現代的テーマも扱い、歴史理解を現代の課題へつなげられるようになっている。 コラム「歴史再考!」では、論点の記述や資料を通して日本史の通説のとらえ直しを図り、思考力・判断力・表現力を養えるようになっている。 文化史では「文化から見る当時の社会」コーナーを設け、多数の資料とともに本文で当時の社会背景を示し、文化史と当時の社会を関連づけて理解できるようになっている。 部全体が「探究する問いの表現」や「時代の特色についての仮説の表現」などの探究活動に取り組める構造となっており、学習内容を根拠として時代の特色を探究できるようになっている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> 要約文・本文・側注の三段構成とし、要約文で要点をおさえ、詳細・発展的事項は側注で補うことで、歴史の大枠から詳細な内容まで整理して学習できるようになっている。 要約文は、小見出しごとに2行程度で要点を示し、予習・復習や通史の流れの把握に活用できるようになっている。 広い紙面を生かして多数の資料を掲載し、資料読解に取り組める工夫が施されている。また、見やすく分かりやすい地図や新しい視点の地図を多数掲載している。 各項冒頭に資料への「疑問」を設置するなど、問いをもって学習を進められるようになっている。 各部冒頭の「時代の扉」には、導入文や広範囲の地図、既習事項に結びつくイラスト・写真・年表

新詳日本史探究（令和9年度版）〔日探 046-901〕 特色一覧

	<p>を設置し、見通しをもって学習に入れるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部末の「まとめと展望」で、「探究する問い」「仮説」を踏まえて時代の特色をまとめられるようになっている。 QRコンテンツとして、ワークシート、資料の拡大閲覧、動画、地図・追加資料、思考ツール・白地図、外部リンク、文章史料と現代語訳等を収録し、教科書紙面を超えた多様な学びに対応できるようになっている。 QRコンテンツとして、河合塾講師と共同で作成した演習問題、出題範囲を自由に選び反復できる一問一答、検索機能付きの用語解説を収録し、授業内外での定着と入試対策に活用できるようになっている。
<p>表記・表現 及び 使用上の便宜</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に合わせて、重要事項がもれなく丁寧に解説されている。 ふりがなや重要語句へのゴシック（太字）が効果的にほどこされている。 本文には関連図版・写真の図番号が示されており、資料の活用を促す工夫がなされている。 本文行間には関連する事項が扱われている箇所への参照ページが掲載されており、教科書を横断的に活用できるよう工夫がなされている。
<p>ユニバーサル デザインへの 対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文や側注、キャプションなどの文字には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UDフォント）が使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。 カラーユニバーサルデザインを採用し、色覚特性のある学習者にも読み取りやすい表現になっている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙は環境に配慮し、かつ裏写りがしない用紙が使用されている。 使用期間の間、破損することがないように、堅牢なつくりになっている。 指導資料や準拠ノートなど、充実した関連教材が用意されている。